

令和4年 第2決算審査特別委員会討論要旨

◎ 会派清新

会派清新を代表いたしまして、第2決算審査特別委員会に付託されました認定第2号から第8号までの7件について、いずれも認定を可とする立場で討論いたします。

引き続きコロナ禍という状況の中で、厳しい財政状況の健全化に向けご努力をされた市理事者、職員の皆様に心より敬意を表します。

討論にあたり一点申し上げたいのは、病院事業会計についてであります。今後の新型コロナウイルス感染症の終息後を見据え、これまで以上に医業収益の確保、経費節減に努め、何より看護師や医師の確保など、経営の安定化に努められるよう要望いたします。

また、その他の事業会計につきましても、今後の人口減少社会の到来を見据えるとともにポストコロナ社会を想定し、適切な行政運営ができるよう、真摯な取り組みを心から期待し、賛成討論といたします。

◎ 新政会

新政会を代表して、第2決算審査特別委員会に付託されました、令和3年度決算、認定第2号から第8号までの7件につきまして、可とする立場で討論いたします。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しがなかなか見えない厳しい状況の中、市税の収入率向上や、ふるさと納税の積極的な推進に取り組み財源を確保しつつ、経費節減など無駄を省き、効率的かつ効果的な行政運営に尽力された市理事者並びに職員の皆様に敬意を表します。

令和3年度は「滝川市第2期財政健全化計画」と「滝川市立病院経営改善計画」の2年目にあたる年度であり、事務事業の効率化を図りつつ、将来の滝川市があるべき姿を見据えた事業を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び国の補助金を財源とした感染拡大の防止、非課税世帯や子育て世帯への臨時特別給付金の給付など、安全・安心な市民生活を考慮した計画的かつ適切な経費の執行に努めたものと認識しております。

以下、若干の意見を付して討論といたします。

1. 国民健康保険特別会計

終息の出口がなかなか見えない新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えるなど、厳しい状況ではありますが、市民の健康増進と医療費の抑制を図るため、引き続き特定健康診査の受診率向上に努められたい。

2. 下水道事業会計

下水道事業は、市民生活や円滑な社会活動を支える重要な役割を担っているものと認識しています。今後も、人口減少や節水機能の普及により使用料収入の減少が見込まれますが、引き続き「滝川市公共下水道事業経営戦略」に基づき、使用料の定期的な見直しにより収入を確保しつつ、計画的な下水道整備と維持管理を推進して、安定した経営に尽力されたい。

3. 病院事業会計

懸念事項であった看護師不足が着実に改善されていることを高く評価いたします。看護師など人的戦力の確保は病院経営に大きな影響を及ぼすものであり、これからも継続した募集・採用及び離職防止を求めます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により診療等に支障を及ぼす状況が継続すると推察しますが、引き続き「滝川市立病院経営改善計画」を確実に推進して、さらなる合理化及び効率化を図り、健全な安定した病院経営を目指していただきたい。

以上、討論といたします。

◎ 会 派 み ど り

会派みどりを代表し、第2決算審査特別委員会に付託されました認定第2号から第8号の全てを可とする立場で討論をいたします。

新型コロナウイルスが増減の波を繰り返し、終息が見えない中、少子高齢化が一段と進む中、そして多様な市民ニーズに応えながら各会計とも経費節減に努力され、総じて剰余金が出る運営に対し敬意を表します。

病院事業会計において当初赤字計画であったが、新型コロナウイルスの交付金で単年度黒字となり、一息ついたところだが、次年度へ向けコロナ関連補助金確保に努力され、さらなる経営安定を求めます。

以上で会派みどりの賛成討論といたします。

◎ 公 明 党

公明党を代表し、第2決算審査特別委員会に付託されました認定第2号から認定第8号までを可とする立場で討論いたします。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として感染防止対策、市民の家計への影響を考えたの支援、事業者への支援などさまざまな対策を実施する中で「滝川市第2期財政健全化計画」を推進されてきたことを評価いたします。

理事者、職員の皆様は、このような困難な状況下で各会計決算において剰余金を生み出すために努力されてきたのだろうと推察いたします。本市は、まだまだ山積した課題を多く抱えております。今後においても、職員の皆さんの英知を結集し、あらゆる面で、逆境を乗り越えていただくことをお願いし、討論いたします。